

## 令和6年度 人権教育研究推進事業 &lt;人権教育研究指定校事業&gt;

都道府県・  
指定都市等名

広島県

学校名

盈進中学高等学校

人権課題

ハンセン病患者等

対象学年・  
取り扱った教科等

中学1年生にげん科

時数等

4時間

目標・人権教育のねらい

- ・ハンセン病についての正しい認識を養い、国の隔離政策に伴う人権侵害について正しく知る。
- ・生徒一人一人が社会の一員として社会問題に対して正しく理解し、正しく行動する力を育む。
- ・自分自身の考えを持ち自分らしく生きる生き方を見出す力を育む。

実施した内容

- ・オリジナル教材を作成しハンセン病とは何かを学んだ。また、DVD教材「こんにちは。金泰九さん～ハンセン病問題から学んだこと～」を視聴し、ハンセン病問題（差別・偏見）の歴史と事実について学ぶ（2時間）
- ・人間回復裁判を通して本名を取り戻すためにたたかう上野正子さんの生き方から学ぶ（1時間）
- ・回復者の生き方から学び「自分たちはどう考え行動するか」を考える（1時間）

工夫した点

- ・本校ヒューマンライツ部生徒がハンセン病問題について書いた文章（作文）を使用して学習を深めた。
- ・授業導入時に、必ず前時の感想文を紹介し学習の質を高めた。
- ・名前の由来を調べ、家庭内でのつながりを深めた。

# 令和6年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

## 他教科との 関連

- ・読書科にて、「卵の緒」(著:瀬尾まいこ/新潮文庫)を読み、家族の大切さを考え、人のつながりについて考えた。
- ・探究科において、働く意味と意義を考え社会の一員としての役割を確認した。

## 事業成果

### ・知識的側面

#### アンケート結果より

ハンセン病はどのような病気かを正しく知ることはできましたか？ よくできた84%/できた16%  
差別や偏見の歴史を正しく知ることはできましたか？ よくできた81%/できた19%

#### 生徒感想より

「私は今回の授業を受けてハンセン病にかかった人が今までどんな思いで戦ってきたのか考えたら、とても悲しくなりました。ハンセン病にかかっただけで家族と縁を切り、偽名にしないといけなかったことを知り、私だったら絶対に無理だと思いました。ハンセン病になった人は差別や偏見に苦しんでいたということを聞き、とても辛くなりました。」

### ・価値・態度的側面

#### アンケート結果より

「正しく知って、正しく行動する」ことの重要性を理解することはできましたか？ よくできた85%/できた14%

#### 生徒感想より

「ハンセン病の差別が起こったのは、らい予防法をつくった国だけのせいではなく、国からの情報を鵜呑みにし、自らに差別を宿した国民の過ちでもあるということです。今日の授業を聞いて、ネットなどにもあるうその情報を自分で正しいか、正しくないかを判断できる力をつけなければならないと分かりました。」

### ・技能的側面

#### アンケート結果より

「いじめ」「悪口」「陰口」「SNS等への誹謗中傷」などに遭遇したときに「やめよう」と言える人になると決意した よくできた72%/できた26%

#### 生徒感想より

「今、差別は無くなっていないのが現実です。だから差別を根本からなくすために、どんな人でも受け入れられるような人になりたいと思いました。」  
「このようなこと(差別・偏見・間違った行動)を「二度と繰り返さないために」過去から学び、Noと言える、そんな人になると決意しました。」